



くも たか 雲の高さはどれくらいなの

なつ たか くも 夏の高い雲で、16キロメートルぐらい

くも たか
雲をながめていると、そらたか
空高くうかんでいるくも
雲や、ひく そら
低い空で、いま
今にもたれ下がってきそうなきも
雲があります。

くも たか
雲は高さのちがいによって、じょうそう くも
上層の雲、ちゅうそう くも
中層の雲、かそう くも
下層の雲に分けられます。じょうそう くも
上層の雲にはけんうん
巻雲(すじ雲)、くも
中層の雲にはちゅうそう くも
高積雲(ひつじ雲)、くも
下層の雲にはかそう くも
層雲(霧雲)など
があります。

また、せきうん わたくも
積雲(綿雲)、つ くも
積み雲)やせきらんうん
積乱雲(かみなり雲、にゅうどうくも
入道雲)は、かそう
下層からじょうそう
上層にかけてひろ
広がります。

おな しゅるい くも
同じ種類の雲でも、きせつ
季節やちいき
地域によって、たか
高さがかわります。なつ
夏は、たか
高い所でちじょう
地上から
16キロメートル、ふゆ たか
冬も高い所で8キロメートルぐらいです。

ひく くも 低い雲で200メートルぐらい

ふつう、あめ ふ
雨が降るときのくも
雲は、ちじょう
地上から250メートル以下にある、い か
下層の雲がほとんど
です。このくも たか
雲の高さは、しつど たか
湿度が高いほどひく
低くなります。

きおん
気温が15
どスイー
で、しつど
湿度が70パーセントのときは、くも たか
雲の高さが700メートルぐらい、
しつど
湿度が90パーセントで、200メートルぐらいです。また、きおん たか
気温が高いと、これよりたか
高く、
きおん ひく
気温が低いと、ひく
低くなります。(監修・村山 貢司)

